

平成27年度事業報告

近年、我が国は少子高齢化、核家族化が進み、また、ここ数年は団塊の世代が労働人口から引退し、高齢化になお一層拍車がかかっております。

こうした中で、シルバー人材センター事業は、地域の高齢者の生きがいの充実と社会参加を促進するとともに、地域社会の活性化に貢献しており、ますます重要性を増してきております。

今後のシルバー人材センターのあり方として、平成27年度からは従来の請負事業に加え、派遣事業において会員が働く現役世代の下支えを行い、地域における人手不足分野で活躍していくことが求められ、国の補助金制度も派遣事業を取り扱うセンターに補助を行うことに一部変更されました。

そのため、平成27年度は「シルバー派遣事業」の実施になお一層取り組むとともに、介護保険制度の改正により介護予防・日常生活支援総合事業が市町村に移管され実施される生活支援サービス事業に取り組むため、女性会員対象に講習会等を実施し準備を進めたところであります。

また、平成26年度から着手したセンター運営の将来展望を踏まえた「中長期計画」を策定し、全会員に配布しました。

事業実績につきましては、行政からの受注額は前年度並みでありましたが、一般家庭からの植木剪定や除草作業の受注額が増加したものの、民間企業からの受注額が事業所の撤退等により減少したため、全体では従来の請負事業の契約額が約3億5,374万円で、前年度と比べ217万円、0.6%の減少となり、派遣事業の契約額は約2,528万円で、前年度と比べ88万円、3.4%の減少となりました。

また、会員数につきましては全体で792人で前年度に比べ48人減少し、男性会員は31人減少、女性会員は17人減少となりました。

以下、平成27年度の事業実績と事業実施の概要を報告します。

1 事業運営体制の充実

- ① 国、県、市町村の行政をはじめ、県連合会・県内の各シルバー人材センター等関係団体と連携を密にし、事業運営体制の充実を図りました。
- ② 会員理事連絡会議を開催するとともに、総務部会、事業部会、地域部会が連携して積極的に事業を進めました。
- ③ 自主サークルの拠点として、女性部手芸班が毎月第2月曜日にセンター会議室を活用し活動を行いました。
- ④ 役職員が県連合会主催の研修等に積極的に参加し、資質の向上を図りました。

- ⑤ 財政運営基盤確立のため、事務・事業の見直しを行いました。
- ⑥ センターの将来展望のため平成26年度から2か年かけて中長期計画を策定し、全会員や関係機関に配布しました。

2 就業機会の開拓・提供事業

- ① 植木作業は、年末に向けて植木受注が混み合うため、昨年度の実績に基づき顧客管理を行い、計画的に作業が行えるように各班と連携を取りながら実施しました。
- ② 未就業会員には発注先にも理解を図り、出来る限り配置会員の公募を行い、就業機会を提供するように努めました。
- ③ 定時総会の通知と一緒に就業開拓チラシを全会員に配布依頼し、口コミ運動を行いました。
- ④ 職業紹介事業は、連合会の動向に合わせて実施しました。
- ⑤ 家事援助サービス事業及び地域支援事業に取り組むため、会員を対象に地域支援事業就業説明会を開催するとともに、病院・福祉施設等にPRチラシの設置をお願いしました。また、広報に家事援助PR記事を掲載、3月には就業会員を集めて情報交換会を開催しました。
- ⑥ 派遣事業についての就業機会の拡大や、派遣法の改正に対応できるように検討を行い、事業の推進に努めました。

3 技能を取得するための講習事業

- ① 中低木の剪定方法及び安全対策を学ぶための植木剪定「新人育成」講習会を開催し8人が受講しました。
- ② 平成28年度公共事業で就業を希望する会員に対し、甲斐市・中央市において就業説明会に合わせて接遇講習会を実施しました。
- ③ 県連合会のシニアワークプログラム地域事業への協力については、県連合会が当該事業を受託できなかったため実施出来ませんでした。派遣就業を希望する地域の高齢者向けの高齢者活躍人材育成事業技能講習会に協力しました。
- ④ 地域支援事業に対応するため、地域支援事業就業説明会を3回に分け実施し、65人の会員が参加しました。また、女性部手芸講習会を開催し、女性会員・一般の方合わせて46人の参加をいただき交流と事業のPRを行いました。

4 普及啓発事業

- ① 管内4地区の行政のまつりに出店し地域住民にPRを行いました。
- ② 第7回コスモス花見会を開催し、約800人の参加をいただき、セ

ンター事業のPRを行い、イベントの収益金で交通安全旗を管内小学校に寄贈しました。

- ③ センター広報「生きいき」を年2回発行し、会員と関係機関へ配布しました。
- ④ 市町広報にPR記事を5月号、10月号、3月号と3回掲載をお願いし、地域住民に周知しました。
- ⑤ 市町のホームページにバナー広告を掲載し、ネット社会に対応したPR活動を進めました。
- ⑥ 当センターのPRチラシを各地区のまつりで配布するとともに、5月には会員一人が5枚を配布し、普及啓発活動を実施しました。
- ⑦ 街頭PR活動については、10月の全国シルバー普及月間に合わせ、管内大型スーパー10カ所の店頭と竜王駅において実施しました。
- ⑧ 地域住民も参加して、普及啓発グラウンドゴルフ大会を開催しました。会員87人と地域住民171人の参加をいただきました。

5 安全就業推進事業

- ① 安全就業推進のため、事務局職員も現場に出向き巡視を行いました。
- ② 安全委員会では、事故を起こした会員を委員会に出席させ、事故状況の聞き取りと検討を行い、作業グループの安全指導と注意徹底を図って参りました。
- ③ 事故の多い草刈り及び植木剪定作業を中心に安全巡回を年7回実施し、安全指導及び飛散防止用具等の使用の徹底を図りました。
- ④ 車両管理要綱に基づき、車両管理の徹底とセンター所有車両貸出の適正化を図り事故防止に努めるとともに、安全運転講習会を実施し運転業務に従事する会員91人が受講しました。
- ⑤ グラウンドゴルフ大会同日、地域住民も参加してラジオ体操を実施し会員87人と地域住民171人が参加をしました。
- ⑥ 草刈り作業会員安全教育実施要領に基づき、基本教育と実技教育に分け実践的な講習会を開催し、73人が受講しました。

6 公平・適正就業の推進事業

- ① 公平・適正就業管理委員会を中心に、就業の公平・適正化とワークシェアリング及びローテーション就業を推進しました。
- ② 就業会員配置基準に基づき、就業機会の公平・適正な就業機会の推進を図りました。
- ③ 地区担当理事と連携し、公平適正な就業の配置を推進しました。

7 相談・情報提供事業

- ① 地区担当理事・地域班長・連絡員・会員の連携を密にし、会員との情報連絡体制の充実を図りました。
- ② 入会説明会は毎月第2、第4水曜日に行い155人の参加をいただき、89人の会員確保に努めました。10月には玉穂総合会館に出張して説明会を開催しました。
- ③ 家事援助サービス事業に就業する女性会員の登録を増やすため、グラウンドゴルフ大会で独自の募集チラシを配布する等の取り組みを行いました。
- ④ 会員理事が中心となり地区ごとに親睦会等を実施しました。
- ⑤ 会員が自覚と誇りをもって就業にあたれるよう、会員心得や緊急時の連絡先などの情報を名札にして、携帯の徹底を図りました。

8 社会参加活動事業

- ① ボランティア活動として、20周年記念事業で作った花壇を、各地区理事と地域班長を中心に、地域会員で管理しました。